



守 分かります。日本美術と通じるものがありますよね。  
香苗 ええ。特に「フォーリー・ベルジエールのバー」っていう絵が好  
守 きで。  
守 ああ。マネの最後の作品ですもんね。  
香苗 そう。あの真ん中に立つ女性の、さびしいような切ないような、  
あの表情が好きなんです。  
守 分かります。あの繊細な表情は印象に残りますよね。  
守 やっぱり、デザイナーさんは、絵にとっても詳しいんですね。  
守 いや。そんなことは。僕なんて、まだまだですよ。  
香苗 ・ ・ ・ それじゃあ、私明日もフライトで朝早いので、この辺で。  
守 ああ、大変ですね。  
香苗 いえ、あの仕事だし。  
守 CVさんですもんね。  
香苗 ・ ・ ・ はい。  
守 それじゃあ、お仕事気をつけて。  
香苗 ありがとうございます。  
守 おやすみなさい。  
香苗 おやすみなさい。  
守 ・ ・ ・  
香苗 ・ ・ ・ あの、  
守 ・ ・ ・ はい?  
香苗 ・ ・ ・ 今度、会えませんか?  
守 え?  
香苗 会いたい。  
守 ・ ・ ・  
香苗 ダメですか?  
守 いや、そんなことは ・ ・ ・  
香苗 それじゃあ、また会える日、連絡しますね。  
守 あ、ちよっと ・ ・ ・  
香苗 おやすみなさい。  
守 ・ ・ ・  
守 (パソコンを閉じる)  
香苗 ・ ・ ・ どうしよう ・ ・ ・  
守 ・ ・ ・ どうしよう ・ ・ ・

舞台両端から声

香苗娘  
おかあさん。体操服知らない？明日使うんだけどー  
守母  
守ー！早くご飯食べちゃって。片付かないから。  
2人  
今、行くー！！  
香苗  
・・・どうしよう・・・  
守  
・・・どうしよう・・・

喫茶店。香苗、美奈と共に座っている。

美奈  
なるほど。つまり、私は今から24歳のスチュワーデスとして、  
今から、そのデザイナーの男の人とお茶を飲みながらお話をすればいいんですね。  
香苗  
大丈夫？  
美奈  
大丈夫ですよ。私、こう見えて芝居とかそういうの結構得意なんですよ。それに何だか面白そうだし。相手、何歳なんですか？  
香苗  
30歳だっつて。  
美奈  
えー、美奈より9歳も年上！？  
香苗  
私より13歳も年下よ。  
美奈  
まあ、いっか。大人の男の人にエスコートしてもらうって思えば。  
香苗  
ごめんね。こんなこと頼んで。  
美奈  
全然。今日暇だし。香苗さんにはいつもお世話になってるし。  
香苗  
ありがとう。それじゃあ、私あっちの席に座ってるから。何かあったら携帯のイヤホンつなげてあるから、それで合図送ってりようかいです。でも、いいんですか？香苗さんが直接合合わなく。  
美奈  
・・・会ったらがっかりしちゃうでしょ。  
香苗  
そうかな。  
香苗  
とりあえず、よろしくね。  
香苗、少し離れた席に座る。  
美奈  
あ、香苗さん。聞こえますか？あの人じゃないですか？  
香苗  
どれ？どれ？  
美奈  
ほら、あのツーブロックの・・・  
香苗  
ええ？あんなにチャラくないわよ。

美奈

いや、会ったことないですよね？

香苗

あったことなくてもそれくらい分かるわよ。とにかく、あれは違う。

美奈

まあ、確かにデザイナーって感じじゃないよね。

そういう行っている間に、守が入ってくる。

美奈

香苗さん。まさか、あの人じゃないですよね？

香苗

どれ？どれ？

美奈

ほら、あの白いシャツの・・・

香苗

いや・・・さすがにあれは違うでしょ。だってあれどう見ても

美奈

30歳じゃないでしょ。

香苗

そうですね。下手すれば美奈より年下かも。

美奈

そうよね。うちの娘と変わらなくなっちゃうじゃないねー

守

っていうか、遅くないですかー。美奈、男の人待たせることはあっても、待つことなんか初めてなんですけどー

美奈

あの。

香苗

・・・

美奈

・・・はい？

守

あの、CVの方ですよ？チャットの・・・

美奈

・・・

香苗

・・・

美奈

そうですね・・・

守

お待たせしてすみません。バス、混んじやあって

美奈

いえ。あの・・・今来たところなんで

守

そうですね。

店員

いらっしやいませ。

守

アイスコーヒーください。

店員

かしこまりました。

美奈

・・・あ、えーと・・・。こんにちは。

守

・・・こんにちは。

美奈

えーと・・・会うの初めてだから、緊張しますね。

守

そうですね。

美奈

ちよっと、すみません。お手洗いに・・・

守

はい。



守

店員

……  
……では、失礼します。

守

……(アイスコーヒーを飲む)ゴホゴホ！

美奈

大丈夫ですか？

守

大丈夫です。

美奈

あの、それでさっきのお話の続きですけど……言っておくことって？

守

……実は、僕。

美奈

はい。

守

……30歳ではないんです。

美奈

……

香苗

……えええ、そうなんですかあ！

美奈

すみません。騙して。

守

いや。騙すっていうか、騙しきれてないっていうか。

美奈

最初は30歳のふりをしようと思ったのですが、やっぱり無理だと思っ

守

て。早めに気付いてよかったですね。それで、本当はおいくつなん

美奈

ですか？

守

17歳です。

美奈

17歳！？

守

はい。

美奈

え……ちょっと待って……17歳ってことは……え？1

守

7歳！？

美奈

はい。

守

ってことは、高校生？

美奈

はい。高2です。

守

高2……

美奈

……やっぱり嫌ですよね。高校生なんかとお茶するのなんて

守

いや、そんなことはないけど、いや、さすがに高校生っていう

美奈

のは驚きだけど、えーと……ごめんなさい。ちょっとお手洗

香苗

い入。

美奈

あ！

香苗

香苗さん！

美奈ちゃん……！  
何で、DKとチャットで出会ってるんですか！犯罪ですよ犯罪！

香苗

だって、知らなかったし！まさか高校生とは……うちの娘と同じ……

美奈

何で美奈が、お金のない高校生相手にしないといけないんですか？とにかく、この会は、これにて終了。いいですね？

香苗

ちよっと待って。

美奈

え？

香苗

確かに相手は高校生だけど……。

美奈

高校生だけど？

香苗

これで終わりにしたくないのよ。

美奈

え？

香苗

いや、そんな変な意味じゃなくてね？初めてなのよ。男の人と絵の話するの。

美奈

そういえば、いつも絵の話をしてたんですけどっけ？

香苗

ええ。とても博学だね。マイナーな作品や画家のことまでよく知っているのよ。だから……

美奈

分かりました。

香苗

え？

美奈

要は、絵の話で盛りあがって、これからも絵について語らう関係でいたい、的な感じでいいんですね？

香苗

……いいの？

美奈

香苗さんには、いつも棚卸とかレジとか手伝ってもらっているし。

香苗

美奈ちゃん。

美奈

任せておいてください。

香苗

……ありがとうございます。

美奈

ああん、また会いに来てくれてありがとうございます、あ、間違えた。お待ちせー。

守

あ、いえ。

美奈

さっきは、ごめんね。失礼な態度取っちゃって。

守

いえ。全然。こちらこそ、ずっと騙してて。

美奈

それはいいの。絵の話とかするの、楽しかったし。

守

本当ですか。

美奈

ええ。

守

そういえば、こないだはこの国に行ったんですか？

美奈

え？国？

守

はい。

美奈

守

美奈

守

美奈

守

美奈

守

美奈

守

美奈

守

美奈

守

美奈

守

美奈

守

美奈

守

美奈

守

美奈

守

美奈

守

美奈

守

美奈

守

美奈

守

美奈

守

美奈

守

海外なんて行ったことないけど？

・・・ええと、〇△なんですよね？

・・・アテンションプリーズ！！

！！

やだ、プライベートでは、行ったことないって意味よ！仕事で  
行く海外なんて、海外じゃないからね！

そうなんですか。

ええと、あれよ。こないだ行った国は・・・えーと・・・フラ  
ンス？

フランスかあ。いいなあ。僕行ったことなくて。

ねえ、美奈も。

え？

いや、こっちの話。

フランスって言えば、マネの国ですよ。

ん？

え？

何、フランスって何かの真似する国なの？

は？

え？

いや、そうじゃなくて。エデュアル・マネですよ。ほら、「フ

ォリー・ベルジエールのバー」の。

ああ。バーね。行ってみたーい。

え？

ん？

美奈ちゃん、ちょっと。

あ、ごめんね。お手洗い。

あ・・・

何ですか、香苗さん。

あのね、マネっていうのは画家の名前で、「フォリーベルジエ  
ールのバー」っていうのは、その人が描いた作品なの。

そっなの？

前に私が一番好きな作品だって話をしちゃったのよ。

そんなん知らないし。聞いてないし。

絵の話をするとかボロが出るわね。

ってか、もう香苗さんが直接話をすればいいんじゃない？

ええ？



美奈 美奈、絵の話分かんないし。これ以上はきついし。あと、絶対

香苗 美奈トイし近い人って思われてるし。

美奈 無理よ。そんなの。

香苗 大丈夫。美奈の仕事の先輩ってことにすれば、ね？

美奈 でも……

香苗 そんなで「美奈ちゃんって可愛いよねー」とか「良い奥さんになれそう」とか言ってくれればいいんで。

美奈 ……分かった。

香苗 ごめんね、待った？実はトイしでスッチー仲間の先輩にそこで会っちゃってー

美奈 そうなんですか

香苗 こちらがそのスッチー先輩

守 ……

美奈 ほら、先輩。

香苗 アテンションプリーズ！！

守 ……

美奈 ごめんね。緊張してるみたい。

守 いえ。

香苗 こんにちは。

守 こんにちは。

香苗 こんにちは。

美奈 この先輩も、絵が好きで、さっきのマネの絵が好きなんだって。

守 え？

香苗 ちよっと……

美奈 何だっけえ、あの、バーのやつ？ああれが好きなんだって。

守 そうなんですか。

香苗 ええ。

守 良いですよね、マネ。

香苗 ええ。

守 色彩がすごく明るくて。

香苗 ええ。

守 写実主義なのに、印象派や表現主義にも影響を与えるような繊細なタッチで。

香苗 ああ、だんだん印象派の作品が増えていきますよね。

守 そうそう。

香苗 私、あの、絵に出てくる人物の表情が好きで。

守 分かります。

香苗 特に『フォーリー・ベルジエールのバー』のあの女性が好きで。

守 他にはどんな？

香苗 マネの他には・・・そうだな。ピサロの「エルミタージュの丘」とか。

守 ああ。空と山と家の構図と色合いがとても綺麗ですよ。

香苗 分かります？

守 はい。確か、ポンドワースっていう国の絵でしたっけ。

香苗 そう。

守 その町に、ピサロが17年くらい住んでたんですよ。ゴッホとかもそこで制作をしていたらしいし。

香苗 そうなんだ。

守 ピサロも印象派ですよ。

香苗 そう。初期のころは農村の風景が多かったんだけど、だんだん人物も描くようになって。

守 新印象主義の技法も取り入れていましたよね。

香苗 そうなんです。その移り変わりにもドラマがあるっていうか。

守 他には？

香苗 モネの「睡蓮（すいれん）」とか。

守 どの睡蓮が好きですか？

香苗 どれも好きだけど・・・1915年の、水草が漂ってるのが一番好きかな

守 ああ、分かります。浮かぶ水草と一緒に、1つだけ小さな睡蓮が浮かぶ構図ですよ。

香苗 そう。水草の1つ1つがすごく丁寧で。

守 わかります。

香苗 まるで、本当にそこに存在しているような。

守 静かに佇む姿が美しいですよ。

香苗 そうそう。

守 僕は、『睡蓮』シリーズの中でも、『睡蓮の池』が好きです。あの水に映り込む感じが好きというか。

香苗 あ、分かるかも。緑の色合いに味がありますよね。

守 分かりますか？少し初期のころなんですけど、さりげなく睡蓮の花が浮かんでいる、あのさりげなさが好き。

香苗 そう、それで・・・

美奈 (あからさまにつまらなさそうな顔をしている)

香苗 えっと・・・美奈ちゃんって、良いお嫁さんになりそう・・・  
美奈 ちよっと、待って？何ですか急に？

香苗 え、でもさっき。  
美奈 話の流れってありますよね？急に何でそんな話題が上るんですか？

香苗 ごめん。

美奈 良いですけど。

香苗 えっと、なんでしたっけ。

美奈 ねえ。

守 はい？

美奈 何で今日会いたいなんて言ったの？ウソついてるってばれちゃうのに。

守 ・ ・ ・

美奈 まあ、言いたくなきゃ良いけどさ。

守 楽しかったんです。

美奈 ・ ・ ・

香苗 誰かと、絵の話なんて普段できないし。友達とかこんな話しても、皆「で？」って話するし。だから、思いつきり絵の話がで

きるなんて嬉しくて・・・  
ふうん。

美奈 守 でも、今日分かりました。(香苗の方を見て) 思っていた通り素敵な人なんだって。

香苗 ・ ・ ・ごめんなさい。

守 いえ、おあいこですし。

香苗 こうして、会うのは、これで最後にしましょう。

守 ・ ・ ・そうですね。

香苗 私とあなたでは、住む世界が違いすぎる。

守 ・ ・ ・

香苗 あなたは高校生で、私は43歳の主婦で。早生まれだから43歳になる年で。

守 はい。

香苗 本当は、いろんな国のいろんな美術館に行ってみたくて、スチユードエスに憧れたりもしたけど、子どもができたちゃって、結局叶わなくて。何となく結婚して、子どもができたちゃって・・・あなたとは違うのよ。

守

香苗

・・・  
でも、たまにいいので。本当に気が向いたとき。また絵の話  
をしましょう。今までのように。

守

香苗

美奈ちゃん。今日はありがとう。帰りましょう。

美奈

うん。何か後半、美奈いなくても良かったんじゃないって感じ  
だったから助かる。

香苗

それじゃあ。

守

あの。今日は、これを渡そうと思って。(本を差し出す)

香苗

これは？

守

画集です。少しだけけどマネの絵も載ってて・・・古本で安く買  
ったのだから申し訳ないけど。

香苗

いいの？

守

はい。

香苗

・・・ありがとう。

守

いえ。

香苗

それじゃあ

守

また。

香苗、美奈、店を出ていく。守の携帯電話が鳴る

守

もしもし。あ、母さん。うん。今から塾。うん。あのさ、進路、  
やっぱり変えてもいいかな？うん。やっぱり、無理かもしれないな  
いけど、美大に挑戦しようと思おう。

舞台転換

晴香

ねえ、お母さん。この髪変じゃない？

香苗

良いと思うけど。

晴香

うーわ緊張する。

香苗

大丈夫よ。今まで勉強してきたんだから。

晴香

でも、倍率高いし。

香苗

まあ、落ちても来年があるし。

晴香

これから受けるんですけど。

香苗

ごめんごめん。じゃあ、お母さんはいいまで。いいからはー

晴香 人で行きなさい。  
うん。ありがと。  
友達と待ち合わせてるんだっけ？  
そう。塾で知り合った子。  
一緒に受かるといいね。  
うん。あ、噂をすれば。

守、学生服姿で出てくる。受験票を持っている。

香苗

守

晴香 おはよう。緊張するね。

守 あ、うん。

晴香 この子、守くん。めっちゃ絵に詳しいの。お母さんにも負けないんじゃない？

香苗 ……そう。

守 ……

香苗 ……頑張ってるね。

守 ……はい。ありがとうございます。

晴香 行ってきます。

香苗 行ってらっしゃい。

守、晴香、受験会場へ向かう。

しばしば見守る香苗。

香苗 頑張ってる。

香苗、画集を取りだし、ペラペラとめくる。

完

r